

小学校教諭の皆さん、教育関係者各位

## ‘Think Globally, Act Globally’ プロジェクト(仮称)のご案内

2004/06/2

美ら地球回遊記 代表

山田拓

E-mail: [taku.yamada@chura-boshi.com](mailto:taku.yamada@chura-boshi.com)

事務局: [info@chura-boshi.com](mailto:info@chura-boshi.com)

URL: [www.chura-boshi.com](http://www.chura-boshi.com)

グローバル化が急速に拡大し、国際社会の中で日本は国としての存在感を問われており、私達は何かしなければ日本はだめになるのではないかと日々危機感をつのらせています。外資系企業で働く人から農村の子供まで、日本人ひとりひとりが、自分の考えを持ち、国際人としての感覚をもっている国にならなければいけないと感じています。

そんな中、自分達の好奇心を満たす旅に出る機会に恵まれた私達は、多種多様な国・地域での体験、感動、気づきなどを日本の子供・大人に伝え、コミュニケーションすることによって、少しでも多くの人々が、広い世界、地球のことを考える時間を持ち、自分なりの考えを持つ一助になればと考え、今回の企画にいたしました。

### 1) Think Globally, Act Globally プロジェクトの概略

#### 1-1. 活動の目的

旅を通じて、自らが民間外交の使徒となり、多種多様な人種や文化を肌で感じ、その体験や感動を主に Web を通じて提供していきます。これにより次世代を担う若い好奇心の刺激や次世代を育成する現世代への問題提起をしていきたいと考えています。

#### 1-2. 活動内容

バックパックを担ぎ、二人で世界一周にチャレンジします。基本的に都市よりも海、山など自然体験が主で、川くだり、トレッキング、シーカヤック、ダイビングなど様々なアクティビティを予定しています。訪問国での様子についてホームページやメールマガジンを中心に情報発信を行います。

#### 1-3. ホームページ/メールマガジンを主とした情報のコンテンツ (5月までに構築予定)

- 子供/大人を対象とした二種の情報発信(Web サイトは日本語/一部英語)

##### ➤ 子供向け:

##### 1. 子供向け Web サイト

インターネット上にホームページを開設し、渡航先から各地の暮らし、自然をテーマに映像、文章を用いて情報発信をします。小学生にも理解しやすいようにキャラクターの旅日記風に編集します。

- おサルの旅日記

主人公のおサルが世界を旅する様子を日記風に紹介。現地で興味を持ったこと、日本の子供たちに紹介したい様々な内容をわかりやすく掲載します

- 自然/文化・文明を軸に各地のくらしを紹介  
日記で紹介した内容や、それ以外の自然、自然動物の様子や各地の暮らしをテーマ、国別に順次掲載していきます。比較学習にも活用することが出来ます。
- 子供 Q&A コーナー  
当サイトを見た子供たちの素朴な疑問に答えるコーナー。サイト上に書き込まれた質問に対し、現地から回答します。
- 落書き帳  
サイトを見た子供たちの感想やご意見を掲載するコーナー。可能な限り、返答します。
- おたよりコーナー  
渡航予定を事前にお知らせし、現地の大使館、領事館に前もって子供達からの手紙を送ってもらいます。私たちが到着後、その手紙に返事を書きます。

2. 世界の国からこんにちは( 指定教育機関「ちゅらぼし学級」のみ)  
ちゅらぼし学級の皆さんとは、「総合的な学習の時間」等で美ら地球回遊記を活用いただき、双方で一緒に考えた企画を実施したり、現地から手紙を送る等、密なコミュニケーションを進めていきます。双方向のコミュニケーションによって、より教育現場で必要とされる情報を提供し、子供の好奇心を駆り立てるための試みです

#### -教育機関における当プロジェクトの活用方法-

子供向けの情報発信は2パターンの下記の活用方法を考えています。

##### Web 閲覧を中心とした活用方法

当該 Web サイトを児童や親に紹介し、自発的に閲覧する活用方法です。上記、「1」に該当する部分は全て利用することが出来ます。こちらは公開されたホームページですので、利用の申込み等の手続きは一切必要ありません。どこの教育機関でも、いつでもご覧になれます。

指定教育機関となり、双方向の密なコミュニケーションを持つ活用方法  
上記「2. 世界の国からこんにちは」を実施することが出来ます。詳細は下記をご参照ください。

#### -指定教育機関「ちゅらぼし学級」とは-

##### -「ちゅらぼし学級」の公募-

日本全国の小学校の中から数校の指定教育機関を公募いたします。下記の項目を満たす小学校、クラスを募集いたします。

- 我々のプロジェクトの主旨に理解、賛同できる
- 総合的な学習の時間に積極的に取り組んでいる、取り組んでいこうとされている
- 我々のプロジェクトをうまく活用できる設備が整っている(ホームページが閲覧できる)

##### -「ちゅらぼし学級」のメリット-

指定教育機関とは下記のような特別なコミュニケーションを持ちます。双方向の密接なコミュニケーションを構築し、より大きなインパクトを子供たちに与えることを狙います。

- 出発前後に私たちが直接学校を訪問します。
- お便りコーナーにおいて優先的に取り扱います。多数の手紙を頂いた場合は指定教育機関の児童からの手紙を優先します

## -「ちゅらぼし学級」の費用負担-

指定教育機関への費用負担は考えていません。但し、学校訪問に関する交通費は実費を負担して頂きたく思います。費用、時間の制約により学校訪問が困難な場合はビデオレターをお送りすることも考えております。（「小学校のみなさんこんにちは、私達はこれから皆さんを代表して旅に出発します…」というような五分程度の内容です）

## 総合的な学習の時間における私たちのプロジェクトの活用例

**目的:** 国際理解の深化、世界に目を向ける子供の育成

### 手順:

1. 年間計画の立案とコンピュータ使用の学習(4、5月)
2. 出発前に私達が訪問し、児童の代表として旅立つ挨拶を行う(5月中)
3. 私達の訪問先を先取りして、調査学習を行う
4. インターネットを通じて、私たちに現地で調べて欲しい項目を送る
5. 私たちが現地到着後、調査、報告を行う
6. 繰返し
7. 帰国後、学校を訪問し、帰国の報告を行う

### 注意事項:

- 現地の通信環境により、予定した通信が常に可能とは限りません。
- 私達の帰国予定は 2005 年 8 月を予定しています。今年度の終わり(2005 年 3 月)に教室を訪問することはできません。
- あくまで私達は情報や教材コンテンツの提供者です。授業の運営は各クラスの教師のリーダーシップによる責任ある運営をお願いします。

- 大人向け: 旅行記を主とし、写真や文章を通じて LOHAS (Life of Health and Sustainability) をテーマに各地の文化、生活、環境問題等を掲載予定です。また、道中、同じように海外モバイルの旅をしたい人のために、活用している使用機器・グッズの紹介、活用方法、ユーザビリティ、耐久性等についてもレポートします。

- Web サイト更新頻度は二週間に一度、メールマガジン発行(大人向け)は一週間に一度を予定

## 2) 渡航予定

- 2004年6月、アラスカに向けて出国
- アラスカユーコン川下りからスタート
- 北米、南米大陸を南下、2004年12月南米パタゴニア到着
- 2005年1月、ケニア/タンザニア等のアフリカ大陸東岸に上陸(2005年1月、一時帰国予定)
- アフリカ大陸を南アフリカまで南下、西岸を北上し、2005年4月にヨーロッパ上陸
- 2005年8月帰国予定

### 3) 略歴

#### 山田 拓(ヤマダタク)

幼少期より各国からの来客者が訪れる家庭に育ち、世界を活躍の舞台にすることを夢見る。  
1993年横浜国立大学工学部入学。北米インディアンにルーツをもつ球技ラクロスに学生時代の大半を費やす。横浜国立大学工学研究科を修了後、海外に活動の場を求めビジネスコンサルティング会社プライスウォーターハウスに入社。入社直後の二年弱をアメリカで過ごす。以降、キャップジェミニ・アーンストアンドヤングに籍を移し、数々の多国籍プロジェクトにおいて多様な人間性、文化に触れ、世界の多様性にさらなる好奇心を高揚させる。

2004年6月、退職後、世界一周に旅立つ。

道中、通過国における文化、人々の暮らしを Web サイトにて公開予定。現在 29 歳

#### 佐藤 慈芳(サトウシホ)

慶応義塾政策メディア研究科修了。大学在籍中は国内唯一のロタ島のホームページを開設。日本だけにとどまらない仕事を求めて外資系コンサルティング会社に入社、5 年弱勤めた後退職し、現在は旅の準備中。関心事はサステナビリティ、環境問題。訪れたことのある国は 20 カ国以上になるが、多様な文化への興味は尽きず、今回の世界一周にいたる。現在 29 歳

以上